

平成30年度(2018年度)

管理事業名	サッカースタジアム事業			総合計画の体系	第4章 個性がひろがる学びと文化創造のまちづくり 第3節 スポーツに親しめるまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費 (目) 39 サッカースタジアム費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
サッカースタジアム管理事業 スタジアム利用促進事業 スタジアム周辺整備事業	(款)総務費 (項)総務管理費 (目)サッカースタジアム基金積立金 サッカースタジアム基金積立金事業 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)スポーツ推進基金積立金 スポーツ推進基金積立金事業				
事業の目的と概要 プロサッカーの試合をはじめ、スポーツの推進及び青少年の健全育成ならびに市民及び地域の交流を図ることを目的とした活動等へ施設の貸出を行うとともに、安心・安全に利用できるよう、スタジアムの維持管理を行います。 スタジアムの将来的な大規模修繕に備え、「市立吹田サッカースタジアムの管理に関する基本協定書」の規定に基づき、指定管理者である株式会社ガンプア大阪より大規模修繕費として支払いを受け、サッカースタジアム基金への積み立てを行います。 市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツ料をスポーツ推進基金に積み立て、同基金からスタジアム利用促進事業及びスタジアム周辺整備事業に一部充当することにより、スタジアムの利用料金を低減し市民等のスタジアムへの利用を促進するとともに、万博外周道路歩道カーラ等舗装やスタジアム周辺に防犯カメラ等を設置しスタジアム周辺の環境整備を行いました。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
プロサッカー入場者数	人	675,205	471,064	547,170	プロサッカーの試合(J1・J2リーグ、キリンチャレンジカップ、天皇杯、皇后杯等)の入場者数
その他入場者数	人	44,071	40,478	28,550	プロサッカーの試合以外(諸室等利用、視察、指定管理者自主事業)の入場者数
成果の説明	当該スタジアムにおいて、プロサッカーの試合を2016シーズンより実施しています。平成30年度はJ1(ルヴァン、キリンチャレンジカップ、皇后杯を含む)が27日開催で入場者数が527,481人(平均入場者数19,536人)、J3が14日開催で入場者数が19,689人(平均入場者数1,406人)でした。 また、プロサッカーの試合以外の利用は553件で入場者数は28,550人であり、総入場者数は、575,720人でした。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差額
		A	B	B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	1	1
その他	201,068	255,068	422,048	166,980
経常収入 小計(a)	201,068	255,068	422,049	166,981
経常費用				
給与関係費	14,497	21,873	24,013	2,141
物件費	151,174	151,103	151,255	152
維持補修費	4,838	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	35	27,075	135,259	108,184
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	434,787	447,401	448,962	1,562
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,854	1,566	1,959	393
退職手当引当金繰入額	4,524	7,611	4,514	△3,097
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	611,709	656,629	765,963	109,334
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△410,641	△401,561	△343,914	57,647
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	250,350	51,631	△198,718
特別収入 小計(d)	-	250,350	51,631	△198,718
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	37,951	37,951
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	37,951	37,951
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	250,350	13,680	△236,669
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△410,641	△151,211	△330,234	△179,023
一般財源充当額	21,543	25,576	27,668	2,092
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△389,098	△125,635	△302,566	△176,931

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
その他 経常収入	スタジアムネーミングライツ料等167,000千円の増額による
負担金・補助金・交付金等	サッカースタジアムにおける利用料金低減負担金81,000千円の増額による

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差額
		A	B	B-A
行政サービス活動収入	201,068	255,068	417,069	162,001
行政サービス活動支出	172,611	203,645	314,186	110,542
行政サービス活動収支差額	28,457	51,424	102,883	51,459
投資活動収入	-	27,000	135,450	108,450
投資活動支出	50,000	104,000	286,001	162,001
投資活動収支差額	△50,000	△77,000	△130,551	△53,551
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△21,543	△25,576	△27,668	△2,092
一般財源充当額	21,543	25,576	27,668	2,092
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	投資活動収入; スポーツ推進基金からの繰入 投資活動支出; スポーツ推進基金積立金の増
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
入場者数1人あたりのコスト	平成28年度	719,276人	571円	経常収入について、指定管理者から納入される土地賃借料等相当額は土地賃借料等として支出、大規模修繕積立金はサッカースタジアム基金へ積み立てています。またネーミングライツ料はスポーツ推進基金に積み立てています。上記のことから、経常費用から経常収入を除いた額で単位あたりのコストを算出しており、結果、入場者1人あたり597円のコストがかかっています。
	平成29年度	511,542人	785円	
	平成30年度	575,720人	597円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,566	1,959	393
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,566	1,959	393
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	11,534,538	11,086,952	△447,586	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	17,520	19,942	2,422
建物・工作物	11,534,538	11,086,952	△447,586	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	17,520	19,942	2,422
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	19,086	21,901	2,815
建物・工作物	-	-	-	純資産	11,648,376	11,279,369	△369,007
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	5,924	23,208	17,284
重要物品	5,924	23,208	17,284	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	127,000	191,110	64,110
投資その他の資産	127,000	191,110	64,110	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	127,000	191,110	64,110
基金	127,000	191,110	64,110	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	11,667,462	11,301,270	△366,192
資産の部合計	11,667,462	11,301,270	△366,192	負債及び純資産の部合計	11,667,462	11,301,270	△366,192

Ⅲ 財務構造分析

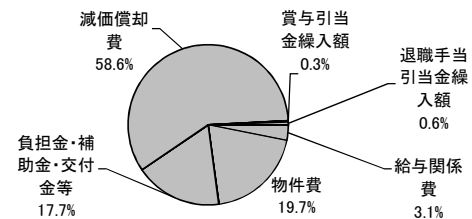
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	3人	人	224日	人	30,487
給与関係費等	28,512千円	千円	1,975千円	千円	
内、時間外勤務手当	451千円				

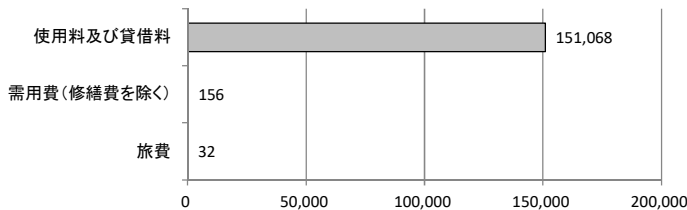
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	減価償却による減
基金	スポーツ推進基金による増

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	市立吹田サッカースタジアム
取得年月日	平成27年(2015年)9月30日 竣工
建物・工作物の取得価額	12,618,966 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,532,015 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	
施設維持補修費比率	0.0	-	-	-
施設老朽化比率	5.3	8.7	12.1	3.4
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	9.7	8.3	4.8	△ 3.5
経常費用対公共資産比率	4.9	5.2	6.1	0.9

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常収入については、ネーミングライツ料が年額(216,000千円)となったことなどから、166,981千円の増となっています。ネーミングライツ料は、スポーツ推進基金に積み立てた後、利用料金低減負担金に108,000千円、また、スタジアム周辺整備に27,224千円の合計135,224千円をそれぞれに充当するため繰り入れました。
 経常経費の19.7%である物件費については、99.9%がスタジアム土地賃借料等となっており、その同額を指定管理者から納入されています。また、補助金・交付金等17.7%の主なものとしては、利用料金低減負担金に79.8%、スタジアム周辺環境整備負担金に20.1%となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツで得た対価を積み立てたスポーツ推進基金からスタジアム利用促進事業に充当し施設利用料金を低減することにより、スポーツ活動のみならず地域振興やにぎわいの創出を目的とした利用を促進し利用者の増加を図るとともに、市のランドマークとなるような魅力ある施設となるよう、基金をより有効に活用し、引き続き、取り組むことが必要です。